

ノーアドバンテージ(ノーアド)方式について

熊本県高体連テニス専門部

1. ノーアドバンテージ(ノーアド)方式とは何か

デュースになった時、次のポイントでそのゲームの勝敗を決めることです。つまりどのゲームも最大7ポイントしかプレーしないことになります。

2. 審判のコール、あるいはセルフジャッジ時のスコアアナウンスはどうすればよいか

ポイントが40-40になった時は通常と同じく「デュース」といいます(俗に「フォーティーオール」と呼ばれるときもあります)。その時サーバーのプレイヤーはレシーバーのプレイヤーにどちらのサイドでレシーブするか尋ねます。そしてレシーバーのプレイヤーは速やかにどちらの側でレシーブするかを選びます。

一度選択すると変更はできません。

※ ダブルスでは右のレシーバーのプレイヤーが受けるか左のレシーバーのプレイヤーが受けるかを選択しますが、混合ダブルスではサーバーが男性プレイヤーの時は男性プレイヤーがレシーブ、女性プレイヤーの時は女性プレイヤーがレシーブすることになっています。但し、大会主催者の任意により、男性レシーブの時にあえて女性レシーブを選択する自由を認める場合もあります。

※ ダブルスの場合、一度レシーブするプレイヤーを選択したあとは、右のレシーバーと左のレシーバーが入替わることはできません。

3. デュースの後ノーアドでプレーすることを忘れていた場合

①気づいた時がデュースだったら	すぐにノーアドに切り換えてプレーします。
②デュースの次のポイントで第1サーブがフォルトになった時に気づいたら	いずれもそのポイントでプレーし、アドバンテージA選手となったら、更にもう1ポイントプレーし、A選手が取ればそのゲームはA選手の勝ち、相手選手が取ればデュースとなり、そこでノーアドに切り換えます。
③デュースの次のポイントで第1サーブがレットになった時に気づいたら	
④デュースの次のポイントでプレー中に気づいたら	
⑤アドバンテージになった時に気づいたら	
ノーアドと気づかずデュースの後の次のポイントに入ってしまった時は、1ポイントで終わらせず、とりあえず2ポイントプレーするという事です。	
⑥アドバンテージになった時に気づかず、次のポイントで (1) 第1サーブがフォルトになった時に気づいたら (2) 第1サーブがレットになった時に気づいたら (3) プレー中に気づいたら	アドバンテージを取っていたのがA選手としたら、そのポイントでプレーし終え、A選手がとればそのゲームはA選手の勝ち、相手選手が取ればデュースになり、そこでノーアドに切り換えます。
⑦誤りに気づいたときはもうゲームが終わっていたら	そのゲームの結果を有効とします。

4. 一方はノーアドだと知っていたが、もう一方は忘れていた時

デュースの次のポイントでプレーし終わった後、A選手は次のポイントに移ろうとし、B選手は「ノーアドだからゲームです」と主張した場合は。

この場合はノーアドが適用され、B選手の勝ちとなります。

A選手がレシーバーだった場合、「ノーアドと知っていたらデュースの時コートを選択していたのに。選択しなかったんだからノーアドは無効だ」と主張できなくもありませんが、B選手からすれば「A選手が黙ってコートを選んだものと思った」という主張があり、これを認めざるを得ません。

このような誤りをなくすために、デュースの時はサーバーがレシーバーにどちらのコートでレシーブするかを必ず聞くようにすることが大切です。